

青森県農協中央会会長賞

米のあるせいかつ

おおぞら小学校（三沢市）

二年 駒こま 沢さわ 吉よし 紀き

パチパチ。すみのやける音と、なんともいえないこのにおい。ぼくのいえでは、きせつにかんげいなく、バーベキューをする。しんせきや友だちとはもちろん、かぞくだけでもする。あみの上へのせるのは、カルビ、タン、ホルモン、ウインナー、アスパラ、ホタテ、サザエ、ハマグリ。そしてそれらをまとめて、さらに食よくをアップさせるのが米。しおむすびで食べてもいい、あみの上でやきおにぎりにすると香ばしいにおいがさいこうだ。おちゃわんに大もりにした米を一気にかきこむのもやっぱりさいこう。あつあつのたきたてもいいけど、すこしつめたいごはんもしつとりして、たくさんかめるからすきだ。

たん生日や、クリスマス、そんな時テーブルにならぶのはたくさんのごちそう、そしておすし。それでも米はそのみりよくをはつきしている。おすすった米は、それだけでもパクパク食べてしまう。ネタとのバランスもいい。バーベキューの時とはちがい、この時はあじをかみしめて、魚のおいしさとそれにまけていない米のあじ、においをおかんじ、しあわせな気もちになる。

「みそおにぎりつくろうか。」

夕はんの後に母が言う。少しだけすいはんきにのこった米を、み

そおにぎりにして食べてしまおうということだ。ぼくはこの時のみそおにぎりも大すきだ。しょっぱいみそとごはんが合う。夕ごはんを食べておなかいっぱいのはずなのに、食べれてしまうからふしぎだ。

おべんとうに入っているごはんもおいしい。時間がない朝にかきこむおちやづけもおいしい。からあげやハンバーグに合うのもやっぱり米だ。

ぼくの生かつに米はかせない。これからも米をたくさん食べて体を大きくしたいのと、米を食べながら楽しむ会話を大切に生かつしていきたい。

